

1 経緯

- (1) 平成27年9月市議会定例会 一般質問への市長答弁
「ラグビーワールドカップに合わせ、観光協会の民営化を果たし、交流人口の拡大と活力の維持・増進に努めたい」
- (2) 平成27年11月 熊谷市商工業振興対策委員会の答申
「平成29年4月を目途に、集客・交流を誘発する推進組織に改組すべき」
- (3) 平成28年6月 観光協会総会で「検討開始」の合意
「検討組織を設置、10月を目途に骨格づくりに取り組む」

2 民営化の必要性

- ・ 観光・交流の活性化のため、「稼ぐ力」を引き出す地域の経営力を磨き、活かすことが大切です。
- ・ 伝統行事の安全・盛大な実施とともに、法人格を取得し、本市の強みを活かした企画・営業・プロモーションが必要です。

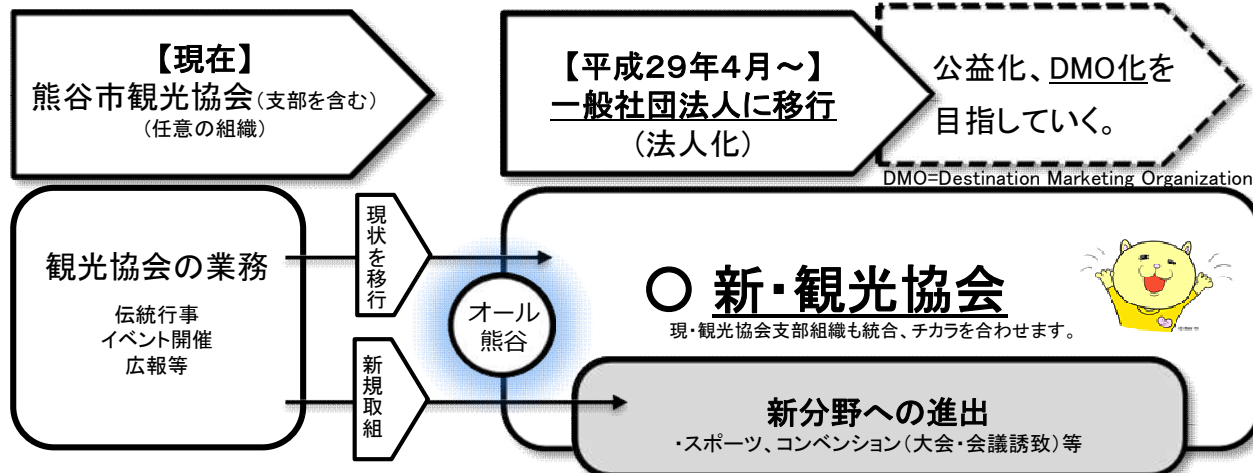
【論点】

- 「オール熊谷」で、観光地域づくりの経営・推進組織を構築すべき。
- ラグビーワールドカップ2019を契機に、ホストシティを目指すべき。
集客・交流にやさしい街

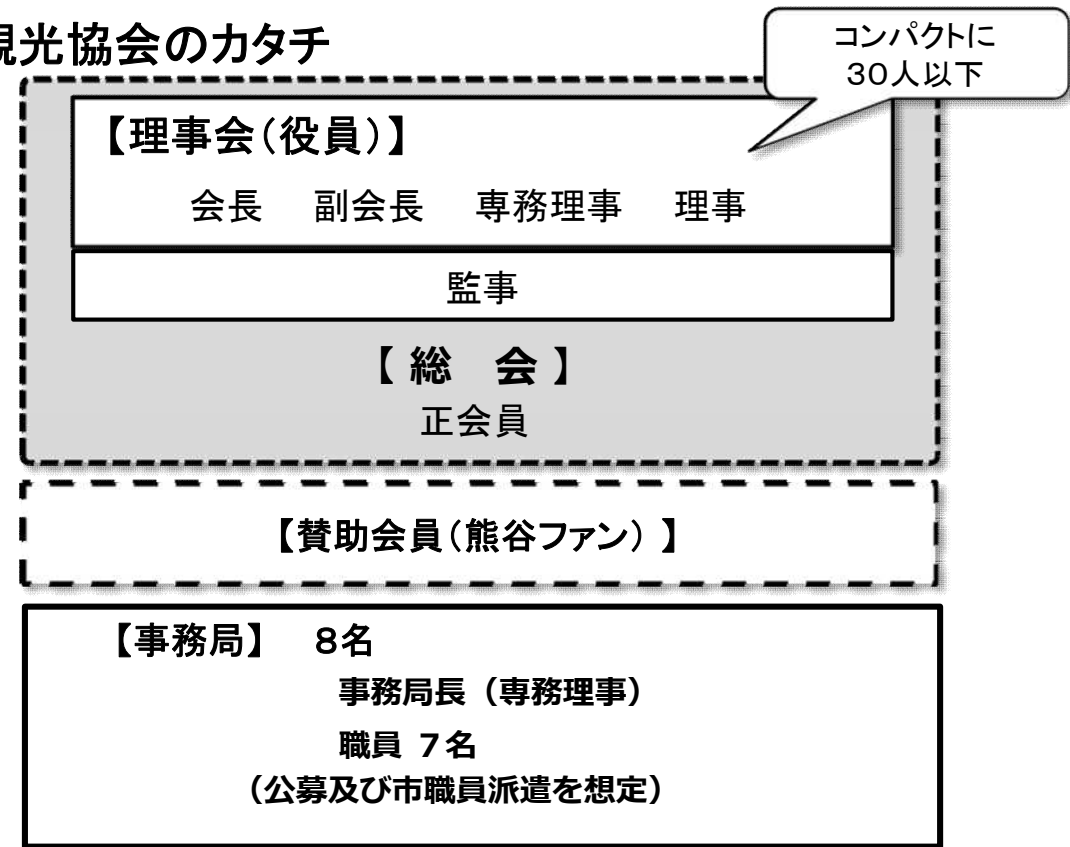
【目的】

交流人口を増やし、街の活力を維持する。

3 民営化（法人化）のイメージ



4 新・観光協会のカタチ



5 新・観光協会の担当区分

- ・ 土地・建物等は市、その上の活動は新・観光協会を担当する。
- ・ 地域に根差す行事は、商工会議所、商工会と協議・委託をする。

【新・観光協会】 ◎ 広報は「オール熊谷」で全国発信!

- 4月 熊谷さくら祭
 - 5月 熊谷B級グルメ大会
 - 7月 熊谷うちわ祭、籠原祭
 - 8月 熊谷花火大会
 - 10月 埼玉スカイスポーツフェスタ
 - 11月 熊谷えびす大商業祭
 - 1月 出初式
 - 2月 だるま市 (以上、例示)
- 熊谷染、観光情報誌、観光ホームページ

○ 商工会と協議・委託

- ・ 妻沼聖天山春(秋)季例大祭
- ・ 友山まつり
- ・ こうなんホテルまつり
- ・ 妻沼夏祭り
- ・ おおさと夏まつり
- ・ こうなん祭り (以上、例示)

【市(商業観光課)】
駅前観光案内所、星川管理、妻沼観光トイレ等管理、お祭り条例(寄附)、市ホームページ、Wi-Fi環境整備など

6 今後のスケジュール(案)

- ・ 12月定例議会へ移行準備の補正予算(案)を提出します。
- ・ 12月～1月、観光協会役員会・総会で移行議案を提出(最終決定)します。
- ・ 2月中に、一般社団法人を登記し、移行準備に取り掛かります。
- ・ 4月から、本格稼働します。